

令和7年度
秋田公立美術大学

入学試験問題

秋田公立美術大学
AKITA UNIVERSITY OF ART



目 次

1 学校推薦型選抜

推薦選抜Ⅰ、社会人特別選抜

実技試験 鉛筆デッサン…………… 1

推薦選抜Ⅱ 小論文試験…………… 4

2 一般選抜試験

前期日程 実技試験 鉛筆デッサン…………… 6

選択試験 着彩表現…………… 9

色彩表現…………… 1 2

立体表現…………… 1 5

小論文…………… 1 8

中期日程 実技試験 鉛筆デッサン…………… 2 0

令和 7 年度

学校推薦型選抜〔推薦選抜Ⅰ〕

実技試験

＜注意事項＞

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は使用しないこと。
- ・ 上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ A 4 用紙 2 枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B 3 用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和 6 年 1 1 月 2 3 日

秋田公立美術大学

「問題」

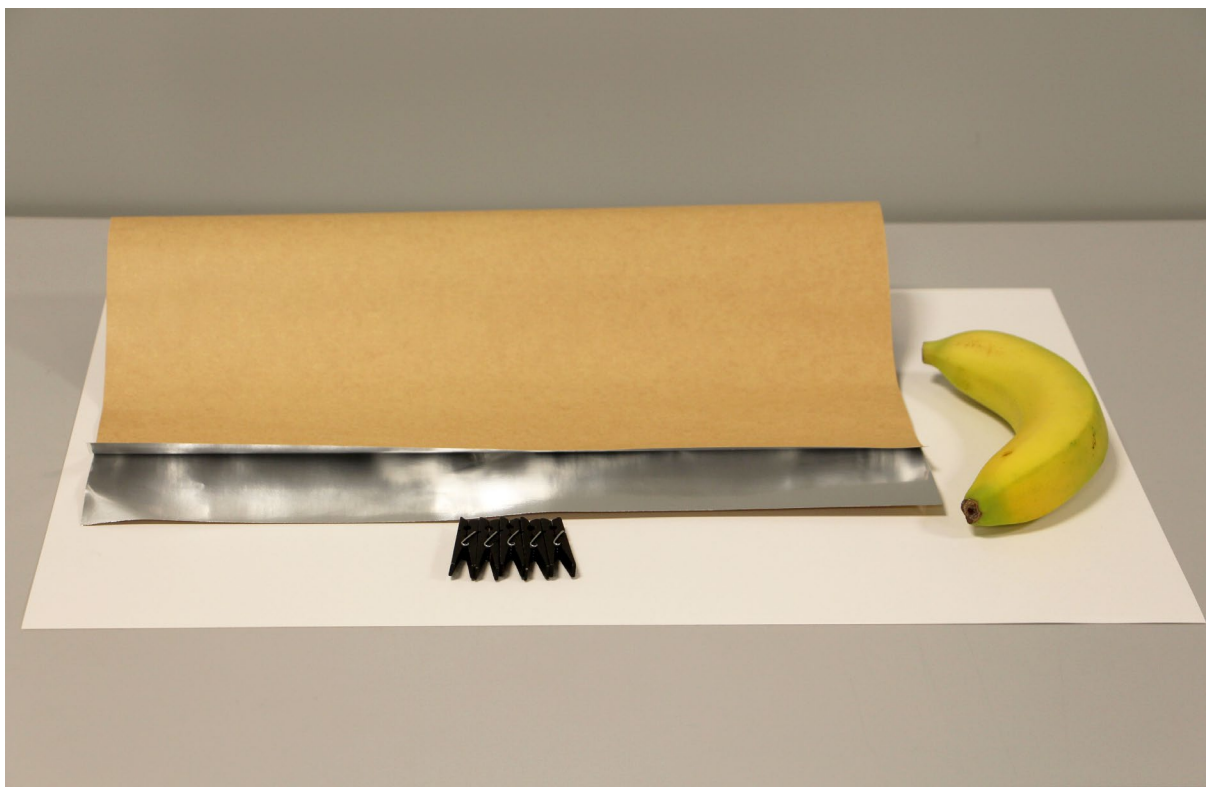
与えられたモチーフ（洗濯バサミ、バナナ、アルミクラフト紙）を自由に構成し、描写しなさい。

「条件」

- 1 9時から9時30分までは、構成を考える時間とし、
解答用紙に描いてはいけない。ただし、配付された
A4用紙には、スケッチ等を描いてもよい。
- 2 モチーフの加工は自由とする。
- 3 解答用紙は横位置とする。

「時間」

9時00分から13時00分まで（240分）



<用紙> TMK ポスター B 3 特厚口

令和 7 年度

学校推薦型選抜〔推薦選抜Ⅱ〕

小論文試験

＜注意事項＞

- ・ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ・ 解答用紙は問題冊子の中に 1 枚あります。~~問題は 1 題あります。~~
- ・ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさいらせること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさいすること。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰らないこと。

令和 7 年 2 月 1 日
秋田公立美術大学

問題

本学では、「形態や空間などを観察し把握する力」や「自身の考えを整理し、的確に伝えることのできる表現力」を身につけた学生が入学することを期待している。そこで、あなたがこれまでに最も感動した形態または空間を一つ挙げ、その内容や特徴を具体的に説明した上で、感動した理由を簡潔に論じなさい。なお、解答にあたっては 40 字以内の表題を付け、1200 字以内で論じること。

時間

10 時 00 分から 12 時 00 分まで（120 分）

令和 7 年度

一般選抜試験（前期日程）実技試験

鉛筆デッサン

＜注意事項＞

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は使用しないこと。
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ A 4 白紙 2 枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B 3 画用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和 7 年 2 月 2 5 日
秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（キルティング生地、紙筒、ハンガーピンチ）を自由に構成したうえで描写しなさい。

「条件」

- 1 試験開始12時から12時30分までは、モチーフを構成する時間とし、解答用紙に描いてはいけない。

ただし、配付されたA4白紙2枚にはスケッチ等を描いてもよい。

- 2 解答用紙は横位置とする。

「時間」

12時00分から16時00分まで（240分）



<用紙> TMK ポスター B 3 特厚口

令和 7 年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

着彩表現

<注意事項>

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）、透明水彩絵の具、筆、筆洗、パレット（絵皿・紙パレット可）、雑巾以外は使用しないこと。
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ 着色に必要な水は、試験開始後、着色を始める時に、試験室内の水場で各自用意すること。
- ・ A 4 白紙 2 枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B 3 画用紙）の裏の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和 7 年 2 月 2 6 日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（保温シート、ランタン、カーネーション）すべてを自由に構成のうえ、着彩表現しなさい。

「条件」

- 1 解答用紙は横位置とする。
- 2 配付された A 4 白紙 2 枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

1 2 時 0 0 分から 1 6 時 0 0 分まで（2 4 0 分）



<用紙> TMK ポスター B 3 特厚口

令和 7 年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

色彩表現

＜注意事項＞

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）、ポスターカラーまたはアクリル絵の具、筆、筆洗、パレット（絵皿・紙パレット可）、直定規（60 cm以内のもの）、三角定規（30 cm以内のもの）、雑巾以外は使用しないこと。
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ コンパス、マスキングテープ、からすぐち、みぞひきガラス棒、クロッキー帳、配色カードの使用は認めない。机上に出ている場合、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ 着色に必要な水は、試験開始後、着色を始める時に、試験室内の水場で各自用意すること。
- ・ A4 白紙 2 枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B3 イラストレーションボード）の裏の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和 7 年 2 月 2 6 日

秋田公立美術大学

「問題」

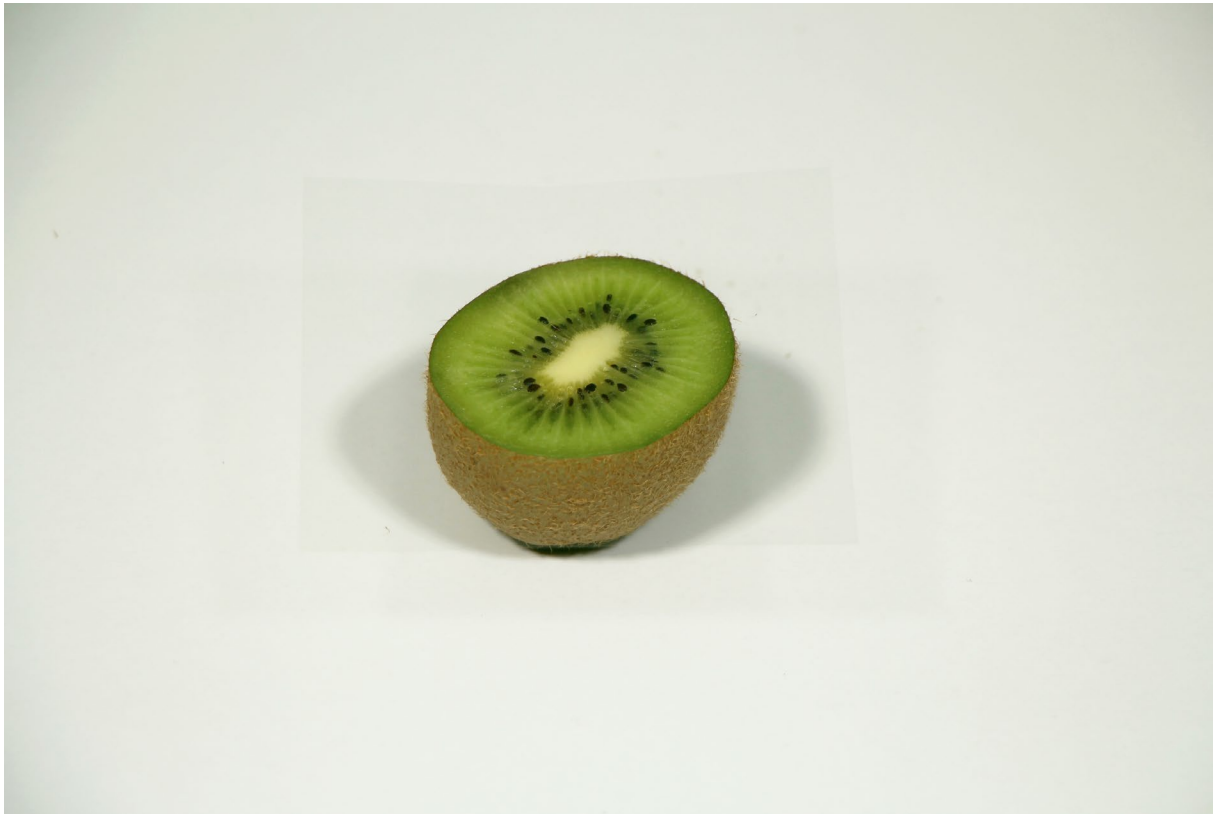
与えられたモチーフ（キウイフルーツ）を用いて、自由に色彩表現しなさい。なお、画面構成はモチーフのみで表現すること。

「条件」

- 1 透明フィルムはモチーフではありません。
- 2 解答用紙は横位置とする。
- 3 解答用紙の中央に縦 30cm×横 40cmの長方形を描き、画面とする。
- 4 画面内は全て彩色すること。
- 5 配付された A4 白紙 2 枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

12時00分から16時00分まで（240分）



<用紙> KMK ケント (イラストレーションボード) 3mm 厚 B 3

令和 7 年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

立体表現

＜注意事項＞

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ、はさみ、直定規（60cm以内のもの）、三角定規（30cm以内のもの）、コンパス、のり、ペンチ、雑巾、スチロールボンド、木工用ボンド、両面テープ、セロハンテープ以外は使用しないこと。 ＊スチロールボンド、木工用ボンド、両面テープ、セロハンテープは、本学から配付する。上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ カッターは必ずカッターマットの上で使用する。机を傷つけないように十分に注意すること。
- ・ ボンド、のりなどが机に付着した場合はすみやかに雑巾で拭き取ること。
- ・ A 4 白紙 2 枚は、スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用の板の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、材料は持ち帰らないこと。

令和 7 年 2 月 2 6 日

秋田公立美術大学

「問題」

4種類に分割された10cm立方のスタイロフォームの塊を再構成して自由に立体を表現しなさい。

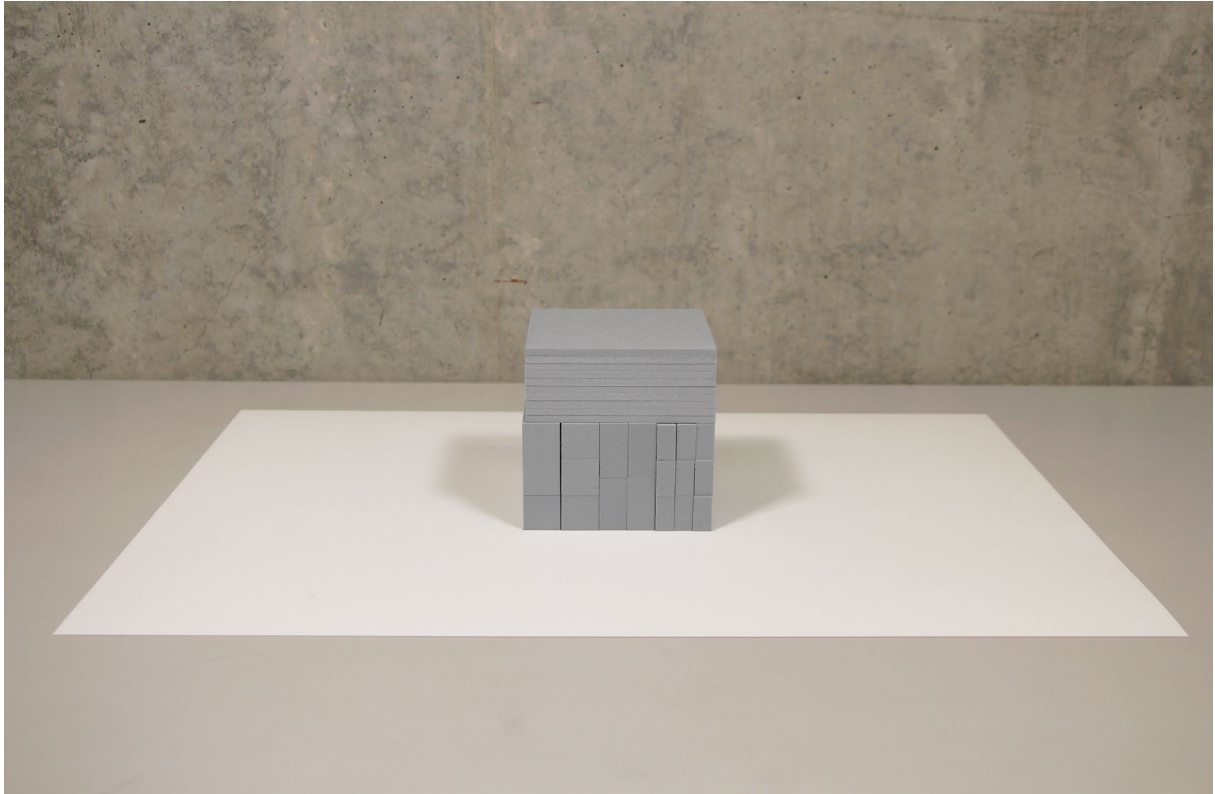
また、別紙に制作意図を100字以内で書きなさい。

「条件」

- 1 立体は解答用の板からはみ出さないこと。
- 2 立体は解答用の板に固定すること。
- 3 与えられたスタイロフォームはすべて使用すること。
ただし、加工で出た端材は使用しなくてもよい。
- 4 配付されたA4白紙2枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

12時00分から16時00分まで（240分）



令和 7 年度

一般選抜試験（前期日程）選択試験

小論文

＜注意事項＞

- ・ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ・ 解答用紙は問題冊子の中に 1 枚あります。
- ・ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入すること。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰らないこと。

令和 7 年 2 月 2 6 日
秋田公立美術大学

問題

小説と絵画のうち、より多様な表現が可能な方を選び、その理由を具体的に論じなさい。なお、論じる際には、小説と絵画の共通点と相違点をそれぞれ1つ以上挙げ、それを踏まえて論を展開すること。解答にあたっては40字以内の表題を付け、1200字以内で論じなさい。

時間

12時00分から14時00分まで（120分）

令和 7 年度

一般選抜試験（中期日程）実技試験

鉛筆デッサン

＜注意事項＞

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は描画で使用しないこと。
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ A 4 白紙 2 枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B 3 画用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和 7 年 3 月 8 日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（カラーセロハン、クラフトカップ、竹ひご）を自由に構成、加工したうえで描写しなさい。

「条件」

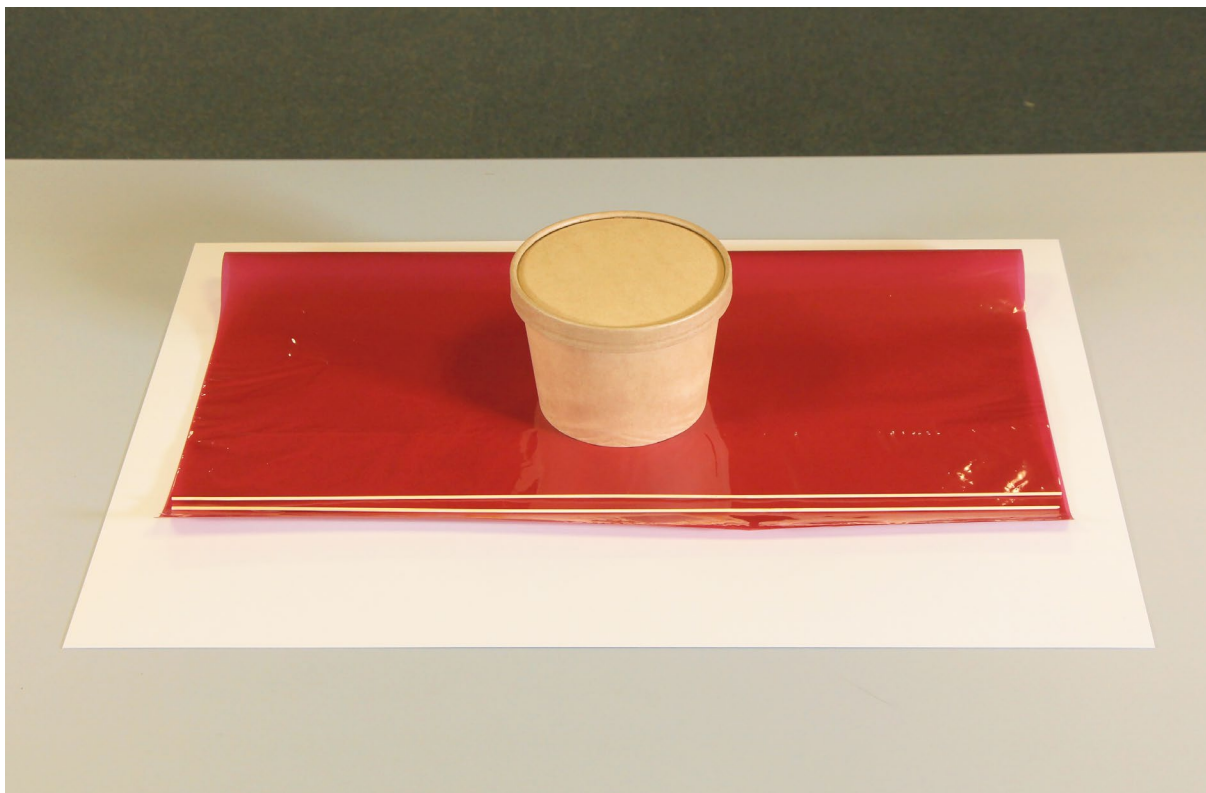
- 1 試験開始 1 2 時から 1 2 時 3 0 分までは、モチーフを構成する時間とし、解答用紙に描いてはいけない。

ただし、配付された A 4 白紙 2 枚にはスケッチ等を描いてもよい。

- 2 ハサミはモチーフではありません。モチーフの加工に使用すること。
- 3 解答用紙は横位置とする。

「時間」

1 2 時 0 0 分から 1 6 時 0 0 分まで（2 4 0 分）



<用紙> TMK ポスター B 3 特厚口